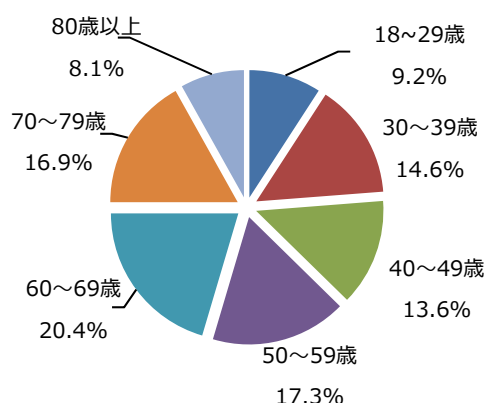


平成 29 年度第 1 回区民アンケートを実施しました！

平成 29 年 10 月 16 日から 11 月 6 日まで、「淀川区政」をテーマとして、淀川区にお住まいの 18 歳以上の方から無作為に選んだ 1,500 名の方に対して、平成 29 年度第 1 回区民アンケートを実施しました。570 名の方にご回答をいただきましたので、アンケート結果の一部を紹介させていただきます。

なお、全てのアンケート結果については、淀川区役所ホームページに掲載するほか、淀川区役所内での冊子配架も予定しておりますので、ぜひ一度ご覧ください。

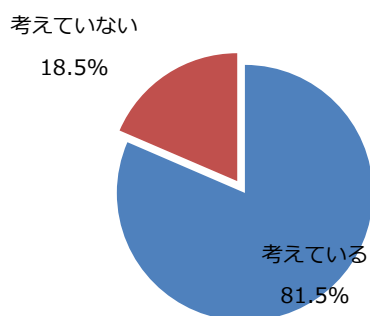
＜回答者の年代構成＞



※小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、内訳の合計が 100.0%とならない場合があります。

・防災について

災害発生時に救援物資はすぐには届きません。そこで区役所では、救援物資が届くまでの 7 日間を目安に、日ごろから家庭で水や食糧などを蓄えていただくよう呼びかけています。あなたは、日ごろから家庭で水や食糧などを蓄えることが重要だと考えていますか？

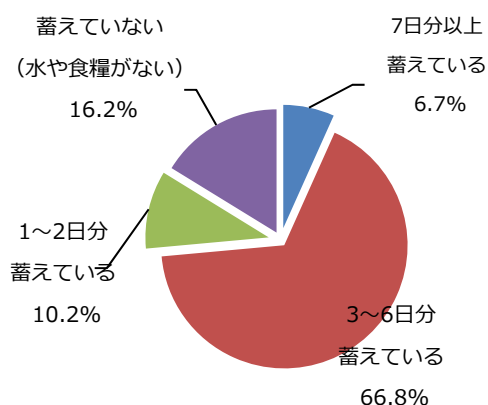


日ごろから家庭で水や食糧などを蓄えることが重要であると考えている方が 80%を超える結果となりました。

年代別で見ると、60 歳以上の方のほうが重要であると考えている方が多くなっています。

今後も、乳幼児健診や防災訓練等、区民の集まる場所において、家庭で水や食糧などを蓄えることの重要性を啓発していきます。

あなたの家庭では水や食糧などを何日分蓄えていますか？

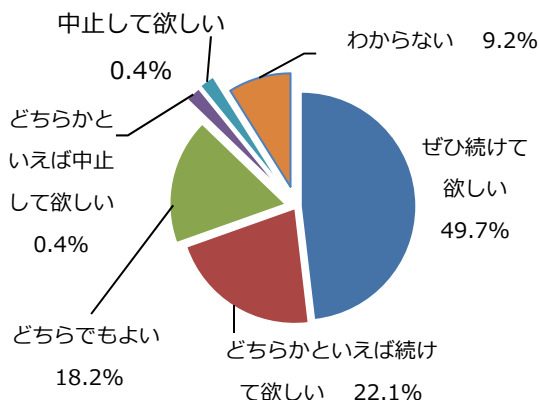


80%を超える方が水や食糧を蓄えていますが、7 日分以上蓄えている方は 7%にも満たない結果になっています。

また、前設問で「考えている」と回答された方でも、7 日分以上蓄えている方は約 7%であるということから、長期的に保存できる食糧等を、ふだん使いながら一定数蓄えておく『ローリング備蓄』という考え方を浸透させることなどにより、より多く蓄えていただけるよう啓発していきます。

・教育支援について

平成29年5月から、毎日夕方、防災スピーカーを活用して、童謡『ふるさと』のメロディにのせて子どもたちに帰宅を促す放送をしています。区内小学校長から、「子どもの安全のために実施してほしい」と要望を受けたものです。あなたは、放送についてどのように思われますか？

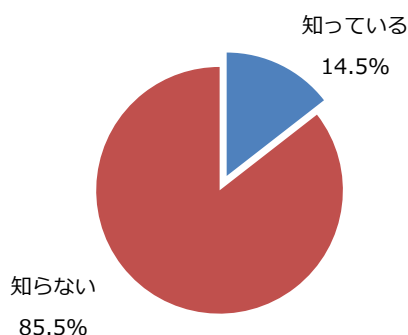


「ぜひ続けてほしい」「どちらかといえば続けてほしい」と回答された方が合わせて70%を超える一方、「中止してほしい」「どちらかといえば中止してほしい」と回答した方もわずかながらいました。

この結果は、要望元である小学校長にも共有し、放送内容の改善に向けた検討を行っております。

・子育て支援について

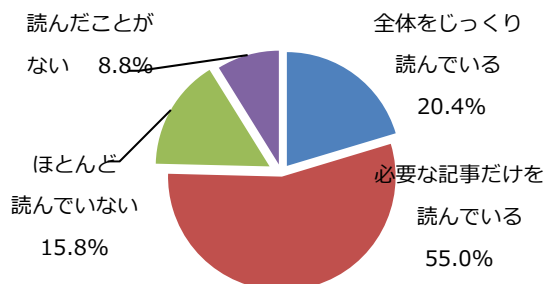
淀川区の独自施策として、急な発熱等で子どもを保育所等に預けられない場合に、ご家庭に保育者が訪問し、病気の子どものお世話をする訪問型病児保育事業に取り組んでいることを、あなたはお存知ですか？



淀川区独自の取り組み、訪問型病児保育事業を「知っている」と回答された方が約15%、「知らない」と答えられた方が約85%という結果でした。前年調査時は「知っている」と回答された方が20%でしたので、依然として多くの方にお知りいただけていないことがわかりました。淀川区の事業が広く認識され、『子育てしやすいまち』になるよう、今後も取り組みを進めるとともに様々な方法での周知拡大を行ってまいります。

・広報について

あなたは、淀川区役所が毎月発行している広報誌『よどマガ！』を読んでいますか？



多くの区民の皆様に『よどマガ！』を読んでいることがわかりました。より一層読んでいただける広報誌をめざして、魅力的な情報発信に努めます。

区民アンケートへのご意見、お問い合わせは・・・

淀川区役所政策企画課（5階51番） 電話：6308-9683/FAX：6885-0534